

発表日：2017年1月30日

## DLE、映画『笑う招き猫』を製作、4月に全国ロードショー 清水富美加、主演作で漫才師に初挑戦！相方に松井玲奈！ 3月よりTVドラマシリーズも放送

株式会社ディー・エル・イー（本社：東京都千代田区、代表取締役：椎木隆太、以下、DLE）は、清水富美加と松井玲奈が漫才コンビに初挑戦した映画『笑う招き猫』を製作、4月29日（土・祝）より新宿武蔵野館ほか全国ロードショーすることお知らせいたします。あわせて、映画に先駆け、同作のTVドラマシリーズ(全4話)も3月よりMBS/TBSドラマイズム枠で放送することをお知らせいたします。



### 【『笑う招き猫』について】

原作は女漫才師を描く友情譚の傑作であり、小説すばる新人賞を受賞した山本幸久の人気作「笑う招き猫」（集英社文庫刊）。若手漫才コンビ「アカコとヒトミ」がお笑いの世界で奮闘し、挫折しながらも固く結ばれた女の友情のもと夢を追いかける青春物語です。

#### ■映画『笑う招き猫』概要

出演：清水富美加 松井玲奈 ほか

監督・脚本・編集：飯塚健 | 原作：山本幸久「笑う招き猫」（集英社文庫刊） | 音楽：海田庄吾

チーフプロデューサー：椎木隆太 丸山博雄 宇田川寧 | プロデューサー：和田有啓 尹楊会 柴原祐一

撮影：山崎裕典 | 照明：岩切弘治 | 録音：田中博信 | 美術：吉田敬 | 美術進行：佐々木伸夫 | 編集：川村紫織 | 衣裳：白石敦子

ヘアメイク：内城千栄子 | VFXスーパーバイザー：小坂一順 | スクリプター：石川愛子 | 音響効果：松浦大樹 |

キャスティング：原谷亜希子

助監督：杉岡知哉 | 制作担当：濱松洋一 | ラインプロデューサー：篠宮隆浩 | 漫才監修：なすなかにし

製作幹事・配給：DLE | 制作プロダクション：ダブ | 製作：「笑う招き猫」製作委員会 |

©山本幸久/集英社・「笑う招き猫」製作委員会

公式サイト：<http://waramane.jp/> | 公式SNS：Instagram(@waramane) Twitter(@waramane) Facebook(/waramane)

## ■STORY

高城ヒトミ（清水富美加）と本田アカコ（松井玲奈）は、「アカコとヒトミ」という結成5年目の売れない女漫才師。今日も小劇場の片隅で、常連客に向けて漫才を披露する毎日。

そんなある日、いつもネタ合わせをしている河川敷で、ヒトミの自転車を盗もうとしている中学生を捕まえてから二人の冴えない運命が回り始める。初めてテレビのバラエティ番組出演が決まったり、番組出演をきっかけに大学時代の旧友と再会したり…。

漫才師として売れる兆しが見えてきた二人だが、とある事件をきっかけに糸が切れた凧のように飛んでいきそうになってしまう。果たして「アカコとヒトミ」にはどんな未来が待っているのか！？27歳、素直になれない女のちょっと遅めの青春ドラマが誕生する。

### 【MBS/TBSのドラマイズム枠にてTVドラマシリーズ「笑う招き猫」放送決定！】

---

映画「笑う招き猫」の公開に先駆け、MBS/TBSのドラマイズム枠で全4話のTVドラマシリーズが放送決定。

ヒトミとアカコが芸人として奮闘する日々を描くアナザーストーリー的な内容で、既存のフォーマットに捉われない斬新な構成のドラマになります。こちらもご期待下さい。

## ■ドラマ「笑う招き猫」(全4話)

MBS：3月19日（日）より毎週日曜24:50～

TBS：3月21日（火）より毎週火曜25:28

### 【キャストコメント到着！】

---

#### ■清水富美加さん

1つの夢に向かっていく事はとても輝かしいですが、現実はそのなにごく甘くない、悩みも不安も絶えない。そんな中でどうするか見つけてゆく、選んでゆく。

ただワイワイしてるだけではない人生を描いている所がこの映画の魅力の1つだと思います。

「わー、大変そう、撮影前からもう辛い」というのが、台本を読んだ時の正直な感想です。漫才をやるということ、体を張ったり色んな顔を見せなきゃいけないこと、セリフのあまりないシーンで淡々と過ごすという苦手なシーンも沢山あったからです。でも飯塚監督と松井玲奈ちゃんがいてくれて本当に良かったです。

#### ■松井玲奈さん

まさか自分が漫才師を演じるなんて、お話を聞いた時は不安しかありませんでした。でも、最初の台本を読んだ時には爆笑していました。

撮影が始まるかなり前から漫才稽古を始めて、相方の清水さんと漫才ができたことは、とても貴重な経験です。

毎日ワイワイとした現場で、学生時代に暗い思い出しかない私にとっては、個性的なキャストさんに囲まれて遅れて来た青春みたいでした。

ドラマから映画まで続けて見て、笑って泣いていただきたいです。

### 【監督・脚本は『荒川アンダーザブリッジ』『大人ドロップ』の飯塚健！】

---

本作の監督・脚本を務めるのは、『荒川アンダーザブリッジ』『大人ドロップ』や山田孝之主演のドラマ『REPLAY&DESTROY』など、独特の疾走感あふれる作風で知られる飯塚健！映画のみならずドラマや舞台など様々な分野で才能を発揮している監督の手によって、「アカコとヒトミ」の友情がどう描かれていくのが注目である。

## ■飯塚健監督コメント

とあるナイター撮影時、思い詰めた様子で清水さんが近寄ってきました。けれど、じっと僕の顔を見つめるばかりで、なかなか口を開きません。こりゃ何か芝居の相談に違いない、と思い促してみても、押し黙ったまま……と次の瞬間、いきなり鼻に触れられました。「監督、ゴミ付いてたんで」と。

……ええ。彼女は鼻●●を取ってくれたのです。その時、「この映画いける」と思いました。

また、松井さんとは昨年春のドラマに続き、二度目の仕事となるのですが、髪を切り、金色に染めてくれ、眉毛の一部を失い、ごく近くで爆破され、時には鮮魚も抱きしめてくれました。……ええ。それはもう、相当に体を張ってくれたのです。その時、「この映画いける」と思えました。

映画の題材として最も手を出してはいけないものの一つ、それが漫才だと思います。が、そんな不安も二人と共に芝居を作っていくにつれ、払拭されました。

また、原作から異常に飛び出ることを深く広い懐でお許し頂いた山本さんにも感謝しております。毛色のまったく違うドラマ版と合わせて、楽しんで貰えたら嬉しいです。

## 【原作者山本幸久さんコメント到着！】

---

驚いた。自分が書いた小説の主人公ふたりが、銀幕の中で漫才をしているのだ、驚かないほうがどうかしている。

見た目はずっと可愛いしスマートだ。漫才もうまくておもしろい。

でも松井玲奈さんと清水富美加さんは紛れもなくアカコとヒトミだ。原作者冥利に尽きる。

監督をはじめキャストおよびスタッフの方々にひたすら感謝。

## ■株式会社ディー・エル・イー 会社概要

---

IP（著作権や商標権等の知的財産権）を開発・取得し、幅広い事業領域へサービスを提供する総合エンタテインメントカンパニー。動画広告等のマーケティングサービス提供、スマートフォンアプリの企画開発、映画・TV・ネットメディア等の映像コンテンツ制作等、時流に乗ったサービスを迅速かつ低コストで量産することで、2014年に東証マザーズ、2016年に東証一部へ上場。

アニメ・キャラクター（秘密結社 鷹の爪、パンパカパンツ、貝社員等）やファッション・ビューティー（東京ガールズコレクション）といった日本が誇るエンタメIP・コンテンツを包括的に保有し、地方創生、海外展開などを積極的に推進する。

---

本件に関するお問合せ：株式会社ディー・エル・イー (<http://www.dle.jp/>)

TEL : 03-3221-3980 FAX : 03-3221-3690 email : [ir@dle.jp](mailto:ir@dle.jp) IR担当 : 深瀬